

- 問1 15世紀末の大航海時代における大西洋横断航海について説明した文として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|--|--|--|
| 1. ガマは、スペインの支援を受けて西回り航路で太平洋に到達した。 | 2. マゼランは、オランダの支援を受けて大西洋を渡りアメリカ大陸の東海岸を探索した。 | 3. コロンブスは、イギリスの支援を受けてインド洋を経由しアジアに到達した。 | 4. コロンブスは、ポルトガルに対抗するスペインの援助を受けて大西洋を横断した。 |
|-----------------------------------|--|--|--|
- 問2 1333年に足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼした後、後醍醐天皇が自ら中心となって始めた、天皇による新しい政治体制を何と呼びますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|----------|
| 1. 院政 | 2. 建武の新政 | 3. 摂関政治 | 4. 寛政の改革 |
|-------|----------|---------|----------|
- 問3 室町時代、民衆が「徳政」を掲げて団結し、借金の帳消しを求めて土倉や酒屋を襲撃した行動の背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。当時の生活と貨幣の関わりについても触れた碑文などの記録を参考に考えなさい。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 貨幣経済が農民の生活にまで浸透し、借金による生活の困窮が深刻化したため、実力行使による解決を図った。 | 2. 第一次世界大戦後の物価高騰に対し、富山県の主婦たちが米の値下げを求めて全国的騒動に発展した。 | 3. 豊臣秀吉が全国の土地の広さや収穫量を調査し、農民を土地に縛り付けることで年貢を確保しようとした。 | 4. 織田信長が城下町の商工業を活性化させるために、座の特権を廃止して自由な取引を認めた。 |
|---|---|---|---|
- 問4 室町時代、借金に苦しむ農民たちが「一揆」を起こして団結し、幕府に対して借金の帳消しを求める法令を出すよう要求しました。このとき出された、債務の破棄を命じる法令を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|--------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 徳政令 | 3. 武家諸法度 | 4. 刀狩令 |
|----------|--------|----------|--------|
- 問5 鎌倉時代に親鸞が開いた浄土真宗（一向宗）が、室町時代にかけて社会に大きな影響を与えた理由について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 加賀国（石川県）などの守護大名と協力することで、幕府から公式な宗教としての保護を強く受けていたから。 | 2. 遣隋使や遣唐使によってもたらされた最新の学問を学ぶことを重視し、知識人階級からの圧倒的な支持を得たから。 | 3. 唐から招かれた鑑真の戒律を厳格に守ることで、国家を鎮める祈禱を行うことを最大の目的としたから。 | 4. 「南無阿弥陀仏」を唱えれば救われるという分かりやすい教えが農民らに広まり、講という組織を通じて強く団結したから。 |
|---|---|--|---|
- 問6 鎌倉幕府の滅亡後、建武の新政に失敗した後醍醐天皇が京都を離れ、南朝を樹立した拠点となった場所はどこか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|-------|-------|
| 1. 石見 | 2. 堺 | 3. 吉野 | 4. 博多 |
|-------|------|-------|-------|
- 問7 室町幕府の第3代将軍であり、1392年に長年続いていた南北朝の合一を成し遂げ、武家政権による支配をより確固たるものにした人物は誰か。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 徳川家光 | 2. 足利義政 | 3. 足利義満 | 4. 足利尊氏 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 室町時代から戦国時代にかけて、応仁の乱で荒廃した京都の復興に尽力し、町の警護や運営を自治的に行った裕福な商工業者たちを何と呼びますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 1. 惣村 | 2. 問丸 | 3. 町衆 | 4. 座 |
|-------|-------|-------|------|
- 問9 室町時代、明に渡って本格的な中国の水墨画を学び、帰国後に独自の力強い筆致と大胆な構図で「秋冬山水図」などの傑作を残した画僧は誰ですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 雪舟 | 2. 空海 | 3. 運慶 | 4. 世阿弥 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問10 14世紀から15世紀にかけて、東アジアと東南アジアを結ぶ拠点として中継貿易で繁栄し、日本に東南アジアの産物や中国の文化をもたらした勢力はどこですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|----------|
| 1. 室町幕府 | 2. 倭寇 | 3. 琉球王国 | 4. ポルトガル |
|---------|-------|---------|----------|
- 問11 14世紀から16世紀にかけて、日本や朝鮮半島、中国沿岸の広い地域で略奪や海賊行為を行っていた集団は、当時、東アジア諸国の大きな悩みとなっていました。室町時代、足利義満はこの集団と正式な貿易船を区別し、明との貿易を円滑に進めるためにある制度を導入しましたが、この集団の名称として正しいものを選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 土一揆 | 2. 遣明使 | 3. 御家人 | 4. 倭寇 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問12 15世紀に成立した琉球王国において、政治・文化の中心地となり、日本や中国、東南アジアを結ぶ中継貿易の拠点として繁栄した都の名称を次のの中から選びなさい。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 十三湊 | 2. 首里 | 3. 漢城 | 4. 大都 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問13 京都の室町を拠点として政治を行った武家政権について、南北朝の合一を実現し、明との貿易を開始するなど、幕府の全盛期を築いた三代目将軍は誰ですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義政 | 2. 足利義満 | 3. 足利尊氏 | 4. 徳川家康 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 室町時代の文化において、能と密接に関わりながら発展した「狂言」の性質について説明したものとして、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 三味線の伴奏に合わせて人形を操る、江戸時代に発達した演劇である。 | 2. 江戸時代の庶民の間で流行した、社会を風刺する短歌である。 | 3. 多色刷りの版画であり、江戸時代の風俗を鮮やかに描き出したものである。 | 4. 当時の民衆の生活などをユーモラスに描いたせりふ劇である。 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 コロンブスは、ポルトガルに対抗するスペインの援助を受けて大西洋を横断した。	コロンブスは、アフリカ南端経由のインド航路開拓を進めていたポルトガルに対抗するため、スペインの女王の援助を得て西回りの大西洋横断航海を行いました。
問2	答え 2 建武の新政	鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇はそれまでの幕府による政治を否定し、天皇が直接政治を行う理想を掲げました。この政治は元号にちなんで「建武の新政」と呼ばれますが、武士の期待に十分に答えられなかったため、短期間で崩壊することとなりました。
問3	答え 1 貨幣経済が農民の生活にまで浸透し、借金による生活の困窮が深刻化したため、実力行使による解決を図った。	室町時代になると、年貢を錢で納める「代錢納」が広まるなど、農民の生活に貨幣が深く関わるようになりました。その一方で、生活に困窮して土倉や酒屋などの高利貸しから借金（ヨキメ）をする農民も増え、その負担から逃れるために「徳政（借金の帳消し）」を求めて団結する土一揆が頻発しました。柳生の徳政碑文などは、こうした民衆の要求が実を結んだことを示す貴重な記録です。
問4	答え 2 徳政令	室町時代には貨幣経済が浸透し、農民たちが土地を質に入れて借金をする状況が生まれました。生活に困窮した農民は「土一揆」を起こし、幕府に借金の帳消しを迫りました。1428年の正長の土一揆がその代表例で、これによって出された法令が徳政令です。この法令により、質入れされた土地や物品を無償で元の所有者に返還させることが可能となりました。
問5	答え 4 「南無阿弥陀仏」を唱えれば救われるという分かりやすい教えが農民らに広まり、講という組織を通じて強く団結したから。	親鸞が開いた浄土真宗は、念仏を唱えるだけで救われるという教えであったため、文字の読めない農民などにも広く浸透しました。信徒たちは「講」と呼ばれる集まりを通じて団結力を高め、室町時代には加賀国のように、一向一揆によって守護大名を倒し、約100年にわたって自治を行う地域も現れました。
問6	答え 3 吉野	後醍醐天皇は、足利尊氏との戦いに敗れて京都を脱出した後、奈良県南部の山岳地帯に位置する吉野へ逃れました。ここで改めて即位を宣言したことで、京都の北朝と吉野の南朝が並立する南北朝時代が始まりました。選択肢にある堺は自治都市、博多は貿易港、石見は銀山として知られる場所です。
問7	答え 3 足利義満	足利義満は、室町幕府の基盤を安定させた将軍です。彼は京都の室町に大規模な邸宅（花の御所）を構え、朝廷の権限を吸収することで、公家と武家の双方を統率する強力な権力を手に入れました。1392年には、対立していた南朝と北朝を一つにまとめる「南北朝の合一」を成功させ、長きにわたる内乱の時代を終わらせました。
問8	答え 3 町衆	室町時代の京都では、幕府の力が弱まる中で、豊かな商工業者たちが自衛や町の運営のために「町衆」と呼ばれる組織を結成しました。彼らは戦乱で途絶えていた祇園祭を再興するなど、京都の都市文化を維持・発展させる大きな役割を果たしました。
問9	答え 1 雪舟	足利義政の時代に遣明船で明へ渡った雪舟は、現地の自然や絵画技法を直接学びました。彼は中国のスタイルを取り入れつつも、日本の風景に合わせた独自の画風を確立し、後の日本美術に大きな影響を与えました。
問10	答え 3 琉球王国	琉球王国は1429年に尚氏によって沖縄本島が統一されて成立しました。14世紀から15世紀にかけて、明（中国）を中心とした冊封体制の中で朝貢貿易を行い、そこで得た中国製品を日本や朝鮮、東南アジアに転売し、逆に各国の産物を中国へ運ぶという「中継貿易」によって黄金時代を迎えました。
問11	答え 4 倭寇	14世紀から16世紀にかけて活動した海賊集団は「倭寇」と呼ばれます。前期倭寇は南北朝時代の混乱に乗じて朝鮮半島などで活動し、後期倭寇は16世紀に中国人主導で密貿易などを行いました。室町幕府の3代将軍である足利義満は、明からの要求に応じて倭寇を取り締まるとともに、海賊と正式な貿易船を識別するために「勘合（勘合符）」という割印を用いた「勘合貿易」を開始しました。
問12	答え 2 首里	1429年に尚巴志が三山を統一して成立した琉球王国は、現在的那覇市にある首里に都を置きました。首里は、中国から受けた冊封（朝貢貿易）や、地理的利点を生かした東南アジア・日本との中継貿易によって経済的に大きく発展しました。他の選択肢である十三湊は中世の津軽の貿易拠点、漢城は朝鮮王朝の都、大都是元（モンゴル帝国）の都を指します。
問13	答え 2 足利義満	三代目将軍である足利義満は、有力な守護大名の勢力を抑えて幕府の権威を高め、1392年に南北朝の合一を成し遂げました。また、明（中国）との間で勘合を用いた日明貿易を開始して経済的な基盤を固めるとともに、京都の北山に金閣を建立するなど、北山文化と呼ばれる華やかな文化を築きました。
問14	答え 4 当時の民衆の生活などをユーモラスに描いたせりふ劇である。	狂言は、神話や悲劇を題材とすることが多い能とは対照的に、名主と家来の関係など、当時の身近な人間関係や日常の失敗談を「笑い」として表現しました。室町時代の文化が、貴族や武士の文化だけでなく、民衆のエネルギーを反映していたことを示す代表的な事例です。